

平成 29年 2月7日

二本松市議会議長 様

会 派 名 公 明 党 
代 表 者 名 小 林 均 

視察研修報告書

当会派において、下記のとおり研修会に参加しましたので、報告いたします。

記

1. 研 修 名 第 44 回『都市問題』公開講座～子育て支援の現在と未来
2. 研修日時 平成29年 1月28日(土)
13時30分～16時30分
3. 研修場所 千代田区 日本プレスセンター 10階ホール
4. 講 師 等 別紙のとおり
5. 参 加 者 ① 小 林 均 ②
③ ④
⑤ ⑥
⑦ ⑧
⑨ ⑩



視察研修結果報告書

1 視察の目的

「都市問題」公開講座に参加し、2015年からスタートした「子ども・子育て支援新制度」の現状を見つめ直し、今日、大きな社会的課題となっている「切れ目のない子育て支援」のあり方や、子どもの育ちを慈しむ社会の構築などの課題についての基調講演とパネルディスカッションを受講し、本市にとっての取り組みについての方向性を学ぶ。

2 視察結果若しくは成果

基調講演では、子ども・子育て支援制度の意義としては、「全ての子どもへ良質な成育環境を保証し、子どもと子育て家庭を社会全体で支える」ことであるとし、単なる待機児童対策でない、歴史的意味として次の3点を挙げている。

①子育てへの貧弱な投資への反省

②「救貧福祉」から「家族政策」へ一歩

③高齢対策に15年遅れ、社会化・普遍化

この一つの解決策として、演者は「日本版ネウボラ」の積極的な導入をあげる。(2014年からモデル自治体でスタート)

最後にこれから求められる子育て政策として、

①昭和モデル(救貧・選別主義)から21世紀モデル(普遍主義)へ
→「すべての親子が支援を必要とする時代」育児困難の深刻化を防ぎ、新しい連帯へ

②利用者中心=専門職・支援者側が連携→切れ目ない支援、ワンストップ化、行政一元化

※ 添付資料 (視察資料)、写真、説明者の名刺(写)、~~行程表~~ 等)

報告者氏名 小林 均

子育て支援の現在と未来

(2017年1月28日(土) 13:30~16:30 於:日本プレスセンター10階ホール)

主催:(公財)後藤・安田記念東京都市研究所

プログラム

13:30 開会 主催者挨拶(後藤・安田記念東京都市研究所理事長 新藤宗幸)

13:35 基調講演 榊原 智子 氏(読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員)

14:20 休憩

14:30 パネルディスカッション

野澤 祥子 氏(東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授)

原 美紀 氏(NPO法人びーのびーの 副理事長)

松本 武洋 氏(埼玉県和光市長)

山縣 文治 氏(関西大学人間健康学部教授)

前田 正子 氏(甲南大学マネジメント創造学部教授) <司会>

16:30 閉会

【配布資料一覧】

- プログラム(本資料)
- 出演者プロフィール
- 榊原智子氏資料「人口減少時代と子育て支援のこれから」
- 野澤祥子氏資料「子育て支援の現在と未来 参考資料」
- 原美紀氏資料
 1. 「安心して子どもを産み育てられる地域づくりを考える」
 2. 「港北区地域子育て支援拠点どろっぶ」
 3. 「平成27年度港北区地域子育て支援拠点どろっぶの活動」
 4. 「子育て家庭の相談窓口」
- 松本武洋氏資料「和光市における地域包括ケアシステムの実践」
- 山縣文治氏資料「子育て支援の現在と未来」
- アンケート用紙
- 『都市問題』2017年4月号予約注文のご案内
- 『都市問題』のご案内